

第70回日本生物地理学会年次大会プログラム

会場：立教大学 14号館 D201号室
市民シンポジウム：立教大学 タッカーホール
東京都豊島区西池袋 3-34-1 (JR池袋駅から徒歩7分)

大会第1日目 4月11日(土)

9:30-10:30 評議員会(評議員のみ) 太刀川会館

11:30 タッカーホールにて受付開始

総合司会：山田 一之(日本生物地理学会)

市民シンポジウム「次世代にどのような社会を贈るのか？」

主催 日本生物地理学会

オーガナイザー：森中 定治, 三中 信宏

司 会：三中 信宏(日本生物地理学会副会長)

12:30-12:50 趣旨説明 森中 定治(日本生物地理学会会長)

12:50-13:00 進行説明, 講演者/論評者/ゲストのご紹介 三中 信宏

13:00-13:40 講演1 対論! 右派の異端者, 左派の異端者 鈴木 邦男(一水会顧問)

13:40-14:20 講演2 対論! 右派の異端者, 左派の異端者
森中 定治(綾瀬川を愛する会, NPO「トリウム熔融塩国際フォーラム」)

14:20-14:40 両講演をお聴きして 田原 総一郎(ジャーナリスト)

14:40-15:00 (休憩) 一般参加者からの質問受付

15:00-15:30 講演者への質問(論評者, もしあれば)

15:30-15:50 一般参加者からの質問に返答

15:50-17:05 対論に対するコメント(論評者 各15分以内)
伊東 乾(作曲・指揮者)
岩田 温(拓殖大学日本文化研究所)
野尻 英一(自治医科大学准教授(哲学))
満田 夏花(環境団体理事)
村岡 到(NPO法人日本針路研究所理事長)

17:05-18:25 対論に対する印象 ご挨拶(ゲスト 各20分以内)
伊藤 誠(日本学士院会員, 東京大学名誉教授)
宇都宮 健児(弁護士, 元日本弁護士連合会会長)
紺野 大介(創業支援推進機構(ETT)理事長, 中国清華大学・北京大学招聘教授)
竹田 茂夫(法政大学教授)

18:25-18:30 クロージングアドレス 上田 恵介(立教大学教授)

大会第2日目 4月12日(日)

一般発表

座長：山田 一之 (日本生物地理学会)

9:30-10:00 インドネシア産ネズミ類 (齧歯目：ネズミ科) に寄生する蟻虫類 *Syphacia* 属の動物地理学的な特徴

カルチカ・デビィ (インドネシア国立生物科学研究所 LIPI),
○浅川 満彦 (酪農学園大学獣医学群), 長谷川 英男 (大分大学医学部)

10:00-10:30 *Didiereaceae* 科 *Alluaudia* 属を中心とした同所性に関する基礎的研究

○橋詰 二三夫, 蒲生 康重 ((財) 進化生物学研究所)

座長：尾形 比呂哉 (東京大総合研究博)

10:30-11:00 海域のベントス群集にみる多様性とその構造

山田 一之 (生態系調査等フリーランサー)

11:00-11:30 システム的種概念：種システムとその属員との関係

小野山 敬一 (地球村自遊学者、または、<この>太陽系地球村の仮説的住民)

11:30-13:00 (昼食)

13:00-

シンポジウム

「昆虫を操作する寄生者たち —分子メカニズムから生態系に与える影響まで—」

オーガナイザー：陰山 大輔 (農業生物資源研究所 昆虫微生物機能研究ユニット)

13:00-13:20 趣旨説明：昆虫を操作する寄生者たち

陰山 大輔 (農業生物資源研究所 昆虫微生物機能研究ユニット)

13:20-14:05 ショウジョウバエのオス殺しの謎に迫る

安佛 尚志・春本 敏之・深津 武馬 (産業技術総合研究所)

14:05-14:50 バキュロウイルスによる巧みな宿主制御戦略

勝間 進 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

14:50-15:35 森と川をつなぐ寄生虫—ハリガネムシ類による宿主操作の生態学的意義

佐藤 拓哉 (神戸大学大学院理学研究科)

15:35-16:20 カメムシに殺虫剤抵抗性を賦与する *Burkholderia* 共生細菌

菊池 義智 (産業技術総合研究所北海道センター)

16:20-16:40 総合質疑 シンポジウム終了

16:40-17:00 学会総会 司会：蒲生 康重

三中 信宏 (農環研/東京大院農学生命科学), 陰山 大輔 (農業資源研・昆虫微生物), 山田 一之 (日本生物地理学会), 蒲生 康重 (進化生物学研)

17:00- 閉会の辞 三中 信宏 (日本生物地理学会)